

そよ風

第6号

今治市立立花中学校

いよいよ東京オリンピックまで1年を切りました。そのオリンピックのあと、パラリンピックが開催されます。さて、パラリンピックで実施される種目には、オリンピックでは実施されていないものもあります。次の種目のうち、1つだけパラリンピックで実施されるものがあります。どの種目かわかりますか。

- 1 アキュラシー
- 2 ボッチャ
- 3 スラローム

答えは、2番の「ボッチャ」です。1番は、フライングディスクの種目の一部で、3番は車椅子の種目で、ともに全国障害者スポーツ大会（国体の後、行われている大会）で行われている種目です。

「ボッチャ」（イタリア語の「ボール (ball)」を意味する言葉）は、カーリングと同じように目標の白いボールに向かってチームごとに交互に投げて、白いボールの近くに自分のチームのボール（赤、青）が行くようにする競技です。また、手に麻痺があって投げるができない人には、ルールで決められた規格の補助具を使って投下することができます。目標の白いボールは試合開始時に選手が投げるので、1試合ごとに位置が変わっていくところはカーリングとは異なる点になります。ボッチャは誰にでもできるスポーツではないでしょうか。地域によっては、ボッチャを実際に体験できる機会を設けているところもあります。

アキュラシーはフライングディスクで、目標のリングに制限時間内にいくつ通すことができるかを競う競技で、スラロームは、紅白の関門を決められた向きに通り所要時間を競う競技で、車椅子を速く正確に操作することが求められます。全国障害者スポーツ大会で実施されますが、毎年5月下旬に県大会として、全国大会への出場者を選考する大会が砥部の運動公園を中心に行われます。機会があれば、応援を兼ねて参観してみるといいのではないでしょうか。

最後に「パラリンピック」の「パラ」の意味をご存知でしょうか？下半身不随を表す（「paraplegics」）とオリンピックの合成語とよく言われていますが、しかし、「para」はギリシャ語の前置詞「並んで立つ」を表し、そこから「対等」という意味をもっています。スポーツすることに健常者も障がい者の区別はなく、取り組んでいるアスリート達が与えてくれる感動にも区別はありません。ただ、オリンピックでも問題になることがあります。実施される種目がすべてではなく、パラリンピックで実施される種目だけが、障がい者スポーツではありません。実施されていないスポーツに取り組んでいる方もいることを忘れずに、来年の東京パラリンピックを楽しみたいですね。そして、東京パラリンピックをきっかけに健常者、障がい者に関係なくみんながスポーツを楽しめる世の中になれるといいですね。

